

第7期四国中央市自立支援協議会 第4回会議 議事録

開催日時	2021年3月4日(木) 19:00 ~ 20:30				
開催場所	四国中央市保健センター1階検診室	司会	越智 寛	記録	石川恵美子
参加者 (敬称略)	藤枝俊之・清家 孝・一柳栄一・近藤秀光・宮崎憲士・篠原あゆみ 石水太一・大西未佳・高橋隆晋・藤原夕紀・鈴木秀明・曾我部綾・藤田昌子 以上委員13名 大西 緑(福祉部長) オブザーバー				
傍聴人	吉原 敦・杉浦良子・横内博之・大西賢治 以上4名				
事務局	越智寛・高橋哲也・石川恵美子・青木重臣				

協 議 内 容

1. 開 会

只今から第7期四国中央市自立支援協議会第4回会議を開催いたします。本日の開催については、新型コロナウイルス感染症対策のため、19時から20時30分を予定しているため、時間内で終了できるようご協力をお願いいたします。

本日の委員の出席状況を確認いたします。委員総数14名のうち、出席委員13名、委員の半数以上の出席を得ておりますので、四国中央市自立支援協議会条例第6条の第2項の規定により、会議の開催要項を満たしておりますことをご報告いたします。なお、会議は「審議会等の運営に関する指針」により、原則公開となっております。議事録作成のために録音させていただきますので、ご了承のほどよろしくをお願いいたします。また、会議の公開は、審議会等の傍聴及び会議録の公開等の方法によることとなっております。傍聴者の受付をしたところ、現在4名となっておりますことを、併せてご報告いたします。

2. 会長挨拶

毎日コロナの話題で、みなさんもお苦勞されていることと思いますが、これからはウイズコロナという考え方で、立ち止まることなく一歩ずつ前に向かって考えていけるようなそんな会であってほしいと思っていますので、時間も予定内で終われるようご協力をお願いします。

それと、報告ですが、この度、障がい福祉計画の上位計画であるマスタープラン、福祉に関する総合計画である地域福祉計画の審議会委員の打診を受けましたが、私が参加することになりましたので、途中みなさんお知恵を拝借すると思っておりますがよろしくをお願いします。

(事務局) 議事に入る前に、本日、四国中央市議会 吉原議員にお越しいただいております。

3. 四国中央市議会 吉原議員あいさつ

市議会の方から、報告やらお願いに参りました。この度、今議会の教育厚生委員会の委員長をさせてもらっております。障がい者条例、障害があってもなくても幸せに暮らせる条例を作っていこうという意志が強くなりました。三島小学校に特別支援学校分校を迎えることになり、4月から開校ですが、子供たちはすでに共生社会の中で育って行って、そして市民になって社会を作ってくれる原動力になってくれると思っております。我々も共生社会インクルーシブルを持つ

## 第7期四国中央市自立支援協議会 第4回会議 議事録

て、今回市議会が主となって条例の方を作っていきたいと思っています。その根本が自立支援協議会、先ほどもありましたが、第2次の地域福祉計画 第6期障がい福祉計画に携わっているのがこの自立支援協議会でありまして、アンケート結果や要望をもとに障がい者条例(資料)を構築させてもらっております。例えばですが、アンケート結果より、障がいの害の字を条例ではひらがな表記にしております。機能的なことに関しては漢字で、人をさす場合はひらがなで表記するというので、アンケート結果を基に、また各市の条例を参考に考えております。検討してもらいたいと思いますが、サポート運動の拡大をいっしょに考えていただきたい。障がい者差別支援協議会の設置、助言またはあっせん、勧告および講評、差別や虐待が起こった時の協議会の設置、合理的配慮についてもいっしょに検討いただきたいというふうに考えています。スケジュールについてですが、5月末までに協力いただいて結果が出れば条例づくりに加速がつくものと考えておりますので協力していただければと思っています。実務が忙しい中お願いするものですから、例えば条例について我々といっしょに考えてくれる場をもつただけるとありがたいです。今回、傍聴に横内議員と杉浦議員も参加させていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局) 委員のみなさま、何かご意見や質問がありましたら挙手をお願いします。

(大西委員) 質問ですが、協力依頼の案内をみると、三島分校のことや連携機関を見た時も子供たちの関係機関が書かれているが、条例については、子供たちの未来のことや三島分校のことが条例を作ろうと思ったきっかけになったのですか？

(吉原議員) 自分の子供のことも含め、幼児期から「うん？」と思うことがあり、それが、だんだん蓄積され、また分校ができるということも含め、両方がきっかけです。

(大西委員) ここからは個人の意見ですので聞き流してほしいが、それであるなら、子供たちが四国中央市で生き生き暮らせるようにするにはどうするか、大人たちがどうサポートすればいいのかというふうに特化して条例を作られたほうがよいのではないかと、より伝わりやすくいいのではないかと思いました。共生社会というのは、子供からお年寄りまで、私にはすごく幅広い印象がありますので、共生社会ということであれば、高齢分野とも連携が必要ではないか、生活福祉課、発達支援課、こども課、教育委員会の連携機関となっているのならば、まずは、子供の特化した条例づくり、そこから共生社会の一步ということで考えてみてはどうかと思いました。

(吉原議員) 鳥栖市ではこどもの条例を作っています。その先には、高齢者も含めた共生条例があります。目指すのが9月議会を目指してまして、相反するところもありますが、まず作ろうというところでもあります。ご意見ありがとうございます。

(藤原委員) 自立支援協議会の地域共生部会で活動しておりますが、今年度は前回の本会の中で次年度においてサポーターマークの創設に向けた取り組みについて承認を得ている中で、サポート運動に関しても関係するところもあると思いますが、ただ、先ほど大西さんの方からご意見があったように、この自立支援協議会の中で地域共生社会に関しては、あくまでも子供からお年寄りまでをどう網羅するかにずっと尽力させてもらってきた自負があります。その中で、今回の障がい者条例というのが障がい者なのか、こどもを対象としているのか、少し対象が見えにくいのかなと思います。

障がいの特化をするのではなくて、地域共生社会を目指す中では、困りごとを持っているすべての方に対して、どうやって暮らしやすくなるかを考えてきた状況があるので、条例の中での言葉の意味や深さを含め、もう少し条例の作り方というのを考えていくのがいいのかなと思いました。

(吉原議員) おっしゃるとおりだと思います。「共生社会を目指す」ということで、少し語尾が弱くなっているかなと、でも逆に言えば、これでは終わらないということでもありますので、そういうことも含めて検討させていただきます。

(藤枝会長) この件については、先日、吉原議員からお話いただきまして、いろいろディスカッションした中で、自立支援協議会で検討修正とありますが、今の段階でもこれだけ議論になるということで、本会がとんでしまうほどのボリュームの強さと、いろんなジャンルがからんでいるということもあり、ここの会だけで検討するものでもないかなと思います。別に会議体を持って検討し、自立支援協議会のメンバーが協力するという形がよいのではないかとお話をさせていただきました。地域共生部会がこの内容にマッチする状況もありますので、まずは、自立支援協議会の地域共生部会長の藤原さんに参加いただくということで、もちろん、またこの協議会に持ち帰って協議いただくということでいかがでしょうか？他の委員の方いかがでしょうか？藤原さんいかがでしょうか？

(藤原委員) はい。がんばります。ただ、自分ひとりだけではすごく荷が重いというか、会のメンバー構成がわかりませんが、できればもう一名、事務局の方から越智さんとか可能なのか、それとも一名で行ったほうがいいのか、どうでしょうか？

(事務局) メンバー構成など、藤原委員さんの意見も汲んで、また議会の方や役所の担当課にもお話しして、議会の前には、事前に藤原委員さんともご協議させていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(事務局) 資料の確認。自立支援協議会条例第6条により、本会議の議長は会長が務めることとなっておりますので、議事進行を会長にお願いします。

#### 4. 議事（議長：藤枝会長）

##### 報告事項（1）連絡会及び各専門部会より活動報告について

###### ① 資源開発部会（部会長：大西）資料5、6ページ

今年度、これまでに8回部会を開催しました。主な活動として、ニーズ調査・分析結果から明らかとなった課題の解決策について検討しました。最重要ニーズから「福祉情報の提供、周知」に焦点を当てて検討し、解決策としてポータルサイトの作成に着手し、「相談先がわからない」「どんなサービスがあるかわからない」などの困りごとを解消する手立てにしたいと考えています。ポータルサイトの福祉版ができればと考えております。（6ページ参照）必要な情報を簡単な操作で入手できるしくみを作っていきたいと思います。費用を捻出できる手段については検討課題です。ポータルサイトの素案ができましたら、本会で確認いただき、皆様のご意見をいただきたいと思います。

###### ② 権利擁護部会（部会長：高橋）資料7、8ページ

## 第7期四国中央市自立支援協議会 第4回会議 議事録

部会開催は今年度7回開催しました。

活動内容として、8ページにもありますように、広報の方で、成年後見制度利用促進基本計画が策定の告知と、重点目標になっております成年後見制度について周知しております。今後の予定として、パンフレットの検討や意思決定支援に関するガイドラインの研究をし、今後の啓発にいかしていきたいと考えております。

### ③ 地域共生部会（部会長：藤原）資料9，10 ページ

部会開催状況は6回で、コロナの関係で2月3月は開催できておりません。活動内容として「地域で共に生きる（暮らす）を支援する」を目標に掲げ、以下の2点について活動している。住民理解促進ということで、資料10ページにあるように広報でヘルプマークについて市民周知を行いました。今後については、前回の本会で承認いただいたサポーターマークの創設に向けた取り組みやヘルプマークの普及啓発、支援者研修会、ぼうさい学校などについて検討していきたいと思っております。特にヘルプマークやサポーターマークについては、福祉だけでなく市民が利用するマークとして産業分野にもご協力いただきながら啓発活動を行っていきたくと思っています。

### ④ 相談支援専門員連絡会（連絡会長：鈴木）資料11 ページ

部会開催は、8回です。

活動内容については、困難事例の簡易スーパービジョン、各専門部会等に参加しているので、その協議内容等を連絡会にて報告することで情報共有・連携強化、事業所マップのための情報収集、「福祉なんでも相談会」の打ち合わせなどを行いました。今後の予定ですが、3月20日、中之庄公民館で予定しております。相談窓口がわからないとか、どこにどんなサービスがあるのかわからないなどの意見もありましたので、個々のケースだけでなく、イベントやマップ作りを通して周知していきたいと思っております。

## 【質疑応答・意見交換】

（鈴木委員）地域共生部会のヘルプマークですが、市報を見た方から、ヘルプマークはどこでもらえますかという問い合わせがありました。父親が視覚障害で、ヘルプマークがあると周りの人にわかってもらえるのではないかと尋ねられてこられましたので、この市報による啓発は効果があると思っております。

（議長）ヘルプマークのポスターや実物サンプルとかはいただけるのでしょうか？

（藤原委員）サンプルなどは生活福祉課の方にあると思っております。生活福祉課で配布してくれるポスターやヘルプマークは全国版または愛媛県が出している統一されたものになります。次年度は、四国中央市版のマークやポスターの検討について取り組んでいくことになっております。

（議長）私の方から、ポータルサイトについてですが、四国中央市はこのような部分が非常に弱く遅れていると思っております。市議会の横内議員もこの部分について取組を考えておられると思っておりますので、障害があるなしに関係なく、広く市民に利用してもらえるように、市議会とも協力しながらやってもらえるといいのではないかと思います。

## 第7期四国中央市自立支援協議会 第4回会議 議事録

- (大西委員) 横内議員のユーチューブを拝見しました。部会活動の中でも、四国中央市で活動されているユーチューバーなどを特集できるとおもしろいのではないかという意見も出ております。いろいろアドバイスいただくと助かります。
- (宮崎委員) ポータルサイトについてですが、ポータルサイトができれば、そのことを啓発する必要があると思います。サイトがあっても、そこにたどり着かないのではいけないので、啓発するのに啓発が必要になってしまいますが、公民館などとも協力しながらやっていけたらいいと思います。
- (大西委員) 宮崎委員のご指摘のとおりで、せっかく作ったのに知られていないのではいけませんので、いろいろな媒体を使って周知していきたいと思います。
- (議長) 情報が多くなると、混乱を招くので、どう集約していくかも課題だと思います。アクセスの入り口をどう構築すべきか研究しておくことも大事だと思います。

### 報告事項(2) 第6期障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画について(事務局)

(事務局) 資料なし。資源開発部会の協力をいただいて素案を作成し、11月26日の第3回自立支援協議会にて承認いただきましたので、その後の経緯について簡単に報告します。1月29日の議員勉強会において議員のみなさんに説明し、1月30日～2月22日の24日間タウンコメントを実施しました。特に意見はありませんでした。その後、市長主催の庁議において承認を得て、現在決裁中です。順調にいけば4月からの実施となります。自立支援協議会のみなさまには多大なるご協力をいただき、計画策定の運びとなりました。この場を借りてお礼申し上げます。報告は以上です。

#### 【質疑応答・意見交換】

質問なし。

### 協議事項(1) 令和3年度優先調達(案)について(事務局)

資料12～16ページ

(事務局) 優先調達推進法に基づきまして、四国中央市の市政推進に係る物品や役務を障がい者総合支援法による機関において発注するもので、調達目標を定め、検証する流れになっております。今回内容について変更点のみ説明します。資料14ページ、調達目標ですが、参考までに令和元年度460万円の目標に対し、4,722,940円の実績がありました。今年度ですが、500万円の目標に対して、現在520万円の実績があります。それを踏まえまして、令和3年度は540万円という目標を設定しております。主な内容ですが、資料16ページに項目がありますが、その中でも重点目標15ページ「ゴミ袋・花苗」「施設等清掃・環境分析」としております。これを踏まえて金額540万円を目標設定しております。これについて、みなさまのご意見をいただけたらと思います。

#### 【質疑応答・意見交換】

(議長) 私の方から、毎年、疑問符がありまして、ただ行政だけでとどまっているのが、なんというか、それをきっかけに、もう少し地域に広がっていくようなものになればいいのかなと思います。例えば、金額や項目だけでなく、もう少し、内容等の情報開示ができれば、民間でも発注できるまでに展開できるようになればいいのかなと思います。項目の「その他の販売」になると行政内だけに留まってしまわず、そこ

## 第7期四国中央市自立支援協議会 第4回会議 議事録

からもう少し脱却できるようになればいいのではないかと考えていますがどうでしょうか？

(事務局) 方針自体が市の発注目標ということで、これは愛媛県のホームページにも実績が公表されることになっております。それを踏まえて民間へも普及できればとは思っています。まだまだ成熟したものになっていないので、これからの課題だとは思っています。

(議長) これは地域共生にもつながることだと思いますがいかがでしょうか？

(藤原委員) イベントを通して、物品販売することで、障がい者施設等を周知するきっかけになると考えています。そこで、市民との交流や理解につながり、発注先や利用してもらえる施設を増やしていくということになってくると思います。支援者には、ただイベントに参加するだけでなく、そこから次につなげていく支援の在り方や広報などのお願いもしております。イベントを通して、その機会を提供できるかを考えていきたいと思っています。

(議長) 本案件について決議を致します。賛成の方は挙手をお願いします。  
全員一致で、本件は可決されました。以上で議事を終了します。

### 4.その他連絡事項(事務局:越智)

(曾我部委員) 四国中央市就職準備フェア検討委員会について報告させていただきます。昨年の12月に昨年度までの実行委員会に参加いただいた方々に集まっていたいただき、検討会を開催いたしました。まず、開催時に協力の確認をさせていただき、協議を開始いたしました。新しい生活様式に応じた開催方法を検討し、開催準備をする必要性があり、今月のある「なんでも相談会」などの他のイベント開催を参考にしながら安全安心なイベントの開催ができればいいのかなと思っています。開催時期については、夏以降、秋ころまでに感染症が流行しないうちに、平日の開催を検討したいと思っています。学校などにも参加の仕方を相談したいと思っています。コーナーの見直しも必要だと思っています。次年度は検討委員会から実行委員会にして開催に向けて準備していく予定です。

(藤枝会長) この時勢ですから、たくさんの方が集まることは難しいと思いますが、ウェブ会議を利用して、会場には参加者がいて、アドバイザーが別にサテライトでいて、先進地とウェブでつながることもできるので、この時代だからこそできる方法を大変だと思いますが検討してもらえたらと思います。

### 5. 閉会

(事務局) 最後になりますが、今年度の自立支援協議会につきましては本日が最後となります。第7期としては次年度も引き続き開催されますので、よろしくお願いいたします。次回の第5回会議以降の日程や会場につきましては、令和3年度に入ってから改めてご連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。以上で、第4回会議を終了します。